

安全報告書

ゆりかもめ
YURIKAMOME
20th
おかげさまで開業20周年

2015



仮新橋駅

20年前の平成7年11月1日、新橋駅より約100m汐留側の仮新橋駅で開業し、その後現在の場所へ駅を移設しました。



車両基地で開業を目前に控えた当時の車両です。

1 ゆりかもめ [安全報告書2015] 発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき、ありがとうございます。

都心と臨海副都心を結ぶ「ゆりかもめ」は、平成7年11月の開業以来、臨海地域とともに成長をつづけ、現在では一日約11万人の方々にご利用いただいております。今年はおかげさまで開業20周年を迎えることとなりました。

弊社は、安全・安定輸送を最大の使命・責務と考え、日々の保守点検、教育訓練、設備の新設・更新等、各施策を計画的に進めており、さらに新型車両の導入や駅舎のリニューアルなどに取り組んでいます。

新型車両「7300系」は、2014年度「グッドデザイン賞ベスト100」に選定され、特別賞「グッドデザイン・未来づくりデザイン賞」も受賞しました。

今後も、すべてのお客さまが安心して快適にご利用いただける交通機関を目指し、さらなるサービス向上に努めてまいります。

この報告書は、輸送の安全を確保するために弊社が取り組んでいる施策等をまとめたものです。安全運行の一層の充実を図っていくため、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 **宮川 昭**

ゆりかもめ“企業理念”

安全で快適な輸送サービスにより、お客様に笑顔と満足をお届けし、臨海地域、東京の発展に貢献する。



新型車両7300系

2 安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針

私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

このため、

- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
- 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
- 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
- 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3 当社の安全管理体制

【1】安全管理体制図

社長を筆頭とする安全管理体制を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでまいります。



【2】役職と責務

社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する
安全推進室長	事故防止に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事に関する事項を統括する
運輸管理者	運輸に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	動力車操縦者の資質保持に関する事項を管理する
土木建築施設管理者	土木・建築施設に関する事項を統括する
電気施設管理者	電気施設に関する事項を統括する
車両管理者	車両に関する事項を統括する

4 平成26年度運転事故・輸送障害等の概要

【1】運転事故

運転事故の発生はありませんでした。

【2】輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

輸送障害は、車両故障が1件、自然災害が2件、その他2件(沿線火災、レインボーブリッジの自動車事故)の合計5件発生しました。お客様にとくに影響が大きかったのは次の3件でした。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけいたしました。

- 平成26年7月15日 沿線火災の影響により遅れと運休が発生
- 平成26年9月6日 レインボーブリッジで、当社フェンスへの自動車接触事故により遅れと運休が発生
- 平成26年10月6日 台風18号の影響により遅れと運休が発生

【3】インシデント(事故の兆候)

事故の兆候であるインシデントの発生はありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取り組み

【1】保安対策委員会

ゆりかもめの安全と社員意識の向上を図ることを目的に、社長、役員、管理職及び現場長で構成する保安対策委員会を年5回開催しています。



【2】安全重点施策

安全性の維持向上を図るため、目標と計画を定めた「安全重点施策」を毎年度策定し、各種教育訓練や設備の改善に取り組んでいます。

◇平成26年度に取り組んだ内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	運輸部門と保守部門が合同で、旅客の避難誘導訓練を実施した
	新旧車両のトラブルを想定した訓練を実施した
	信号設備のトラブルを想定した訓練を実施した
	雪害総合マニュアルを作成するなど、雪害時の対応力強化を図った
設備の新設・更新・機能維持	新型車両を6編成導入した
	在来車両2編成の制御装置を更新した
	ホーム・駅構内監視カメラの更新のため、詳細設計を実施した
	ホームドアレール100本の補修を実施した
	芝浦ふ頭駅他、5基のエレベーターを更新した

◇平成27年度に取り組む内容のうち、主なものは次のとおりです。

区分	内容
安全・安定輸送の確保	運行管理装置を手動操作で取り扱うための訓練を実施する
	人命救助を最優先にした避難誘導訓練を実施する
	電力設備のトラブルを想定した訓練を実施する
	高所構造物の緊急点検を想定した高所作業車取扱訓練を実施する
設備の新設・更新・機能維持	新型車両を新たに5編成導入する
	在来車両3編成の保安装置等を更新する
	ホーム・駅構内監視カメラの更新を全駅で実施する
	信号保安設備の更新を実施する
	ホームドアレールの補修を継続する
テレコムセンター駅他、5基のエレベーターを更新する	

【3】役員・管理職による職場巡回

社長以下管理職が定期的に各職場を巡回し、安全確認を行っています。また社員との懇談会を通じて安全意識の高揚を図っています。



【4】工事及び保守業務委託受託者安全説明会

年度当初に、受託者となるパートナー企業に向けた安全管理規程に基づく安全講習を行い、現場作業の安全向上に努めています。



【5】異常時総合訓練

異常時を想定し、お客様の避難誘導や事故復旧を行う総合訓練を実施しています。



【6】教育訓練の充実

事故・災害等への対応力の強化と技術レベルの向上を図るため、様々な訓練を実施しています。

◇駅に留置した列車への乗り込み訓練

運転席横のドアを手動で開けて、乗務員が乗り込むための訓練を実施しています。



◇車庫管理装置の手動操作訓練

トラブル発生時に、指令員の手動操作により、車両基地から列車を運行させるための訓練を実施しています。



◇凍結防止剤散布装置搭載訓練

降雪時にタイヤのスリップを防ぐため、凍結防止剤を散布する装置を迅速に取り付ける訓練を実施しています。

◇転てつ機の調整訓練

車両基地に本線と同じに作られた分岐部の訓練設備を設け、社員が取り扱い訓練を実施しています。写真は、分岐部のレールを動かす「転てつ機」を調整する訓練です。



◇走行路の応急補修訓練

日中の走行路損傷を想定し、短時間で走行路の応急補修作業を行うための訓練を実施しています。

【7】安全のための支出

平成26年度は、安全性の維持向上を図るため、総額61億円を施設、設備や車両の更新・修繕、保守管理等に充てました。

6 ゆりかもめの安全を支える設備

ゆりかもめは総合管理システムによる自動運転により安全で快適な運転を行っています。この他、次のような設備によりお客様の安全を確保しています。

◇風向風速計

沿線の4ヶ所に風向風速計を設置しています。運行の安全確保のため、風速が基準値を超えた場合には、運転規制を行います。



◇排障器

タイヤの前に設置され、走行路の障害物を排除する装置で、降雪時には除雪装置として機能します。



お客様へのお願い

ゆりかもめは自動運転をしております。閉りかけた扉への無理なご乗車は、危険ですのでおやめください。今後とも安全運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取り組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ 総務部 総務課
TEL 03-3529-7777 [代] 9:00~17:30(土日・祝日・年末年始を除く)
FAX 03-3529-7770

URL <http://www.yurikamome.co.jp>

